立花生徒会新聞 Gerbera 通信

第12号　平成24年
11月21日
尼崎市立立花中学校
生徒会執行部　発行

ガーベラの花言葉
常に前進・希望
(立花中学校、全員で常に前進していきましょう)

生徒会執行部役員選挙

もうすぐ生徒会執行部役員選挙があります。今年度は生徒会会長、文化厚生委員長、図書委員長、美化委員長、体育専門委員長、健康管理委員長、放送委員長の計7名で生徒会活動をしていました。ですが、来年度は副会長新設が決定しましたので、副会長を入れての計8名での活動となります。生徒会執行部では、行事などの際の企画、進行や朝のあいさつ運動、生徒会新聞を作ったりしています。また、各委員長がそれぞれの委員会をもっており、一ヶ月に一回の専門委員会の運営も行っています。これ以外にも生徒会執行部は様々な仕事をしていて、その仕事を一生懸命にし、自分の意見をきちんともって取り組むことで生徒会執行部全体も、自分自身も、成長していけると思います。

私たちは生徒会執行部に入って、多くの経験をし、新たなことを得られました。それは一人一人違うと思いますが、ある三つのことは少なくとも執行部全員が得られたのではないかと思います。まず、一つ目に度胸がつきました。生徒会に入ると、朝礼などで人前にたつことが多くなり、意見をはっきりといわなければいけない場面で、できるようになります。最初はとても緊張したりしますが、そのうちに人前に立つことになれ、度胸がつくようになります。二つ目に臨機応変に動けるようになりました。行事などの際に自分で考えて動かなければいけないので、自然に臨機応変な対応ができるようになりました。三つ目に協調性がつきます。自分の意見ばかりを主張せず、相手の意見も聞けるようになりました。このように、生徒会執行部に入ると様々なことが得られると思います。生徒会で新たに得たものは、学校生活でも生かせます。

クラスで立候補者が出た場合、全員でその立候補者を応援してあげてください。立候補者にとってクラスメイトの応援はとても励みになります。ですから、安心して立候補できる環境を作ってください。

学校のルールをきちんと守れ、興味のある方は是非、生徒会執行部に立候補し、よい立花中学校を作っていきましょう。

期末テスト

今月末は期末テストがあります。期末テストは今学期で行われる最後のテストです。テスト範囲は事前にわかるので、対策が練りやすいと思います。内容は教科書やプリントの中から出されるのはもちろんですが、授業の会話の中にも重要な言葉があると思うので、メモを取りながら集中して授業を聞くことが大切だと思います。勉強では目標を持って取り組むことが必要です。今回何点どるか明確な目標を決め、それを実現できるように努力しましょう。しかし、いきなりいろいろなことをすべてしようとすると、すぐに集中力が切れてやめてしまうと思います。勉強の集中力が続かない人は、ワークなどテスト前の課題をまず初めに取り組んでみましょう。その日のノルマを作るなど、ある程度の目標があると人間は集中力が続くものです。優先順位を考えて、簡単なものから手をつけて数をこなすか、あえて難しいものからやって残りを楽にするかして気分よくはじめるといいと思います。そしてその後に課題で解らなかったところや間違ったところを何度も繰り返してするとより内容が身につくことでしょう。復習をしっかりとし、万全の状態で挑みましょう。

ところで皆さんはどのような進路を考えているでしょうか?三年生の皆さんは行きたい高校などがあると思います。ですが、行きたいだけでは何にも変わらないと思います。本当にその高校などに行きたいなら、当たり前のことですが、勉強をしなければなりません。進路は自分のこれからの人生を決めるものです。今回の期末テストは自分の人生を決めるものだと思って、一生懸命に取り組むようにしましょう。

二年生、一年生は三年生のように進路に直接的にかかわってくるわけではないですが、中学校で行われるテストはすべて大切です。特に暗記するべきことは今のうちに確実に覚えておき、三年生になってからもう一度覚えなおしをしなくても済むようにしましょう。三年生も二年生も一年生も、テストは全力で臨み、悔いの残らないものにしましょう。ベストが尽くせ、よい結果になるように頑張ってください。

トライやるを終えて

私たち二年生は11月5日から5日間「トライやる・ウィーク」に行きました。この体験で仕事の苦労や大変さ、厳しさなどを十分に学ぶことができました。私たちはこれからどんどん大人に近付いていきます。いざ、大人になった時のためにもこのトライやる・ウィークは良い経験になったと思います。

みなさんはトライやる・ウィークで何を一番はじめに気をつけましたか?私の場合はあいさつや言葉づかいを気をつけました。社会に出るとやはり、言葉づかいなどは厳しくチェックされます。言葉づかいの良し悪しで人の印象というのは大きく変わるからです。なので、私はその時、その場であった言葉をつかい、なるべく大きな声ではっきりと丁寧に喋るように心がけました。あいさつも同じです。あいさつというのは、日常の人間関係を円滑に取り組むための、一定の形式をもった半ば儀礼的な相互行為です。なので、あいさつもなるべく大きな声ではっきりと言いました。あいさつというのは、されたほうも気持ちがいいし、するほうも気持ち良くなれます。気持ちのよい人間関係づくりをするためにはまずあいさつからです。

トライやる・ウィークでは活動日誌を書いていました。活動日誌では、毎日しっかり記入し明日の活動に生かせるようにすることができましたか?活動日誌は自分が一日行ったことを振り返り、まとめ、感想や反省点、課題についてこと細かく書きます。そうすることにより、自分の行った失敗やミスがわかり明日に生かせるようになります。逆に、いいところはもっと伸ばすようにもできると思います。こういった、活動日誌などは学校でもスクールライフという形で書けると思います。なので、トライやる・ウィークが終わってからも自分の一日を振り返り、まとめ反省点を見つけて明日の学校生活に生かせるようにしていきましょう。

みなさんはこのトライやる・ウィークを行いさまざまな人とふれあい経験していく中で新しい自分を見つけられたと思います。トライやる・ウィークということの貴重な経験を胸に今日から新しい自分で学校生活を頑張っていきましょう。

尼養文化祭

私たち生徒会執行部は、尼崎養護学校の文化祭を見学しにいきました。尼崎養護学校には、いろいろな支援が必要な小学校から高校までの生徒が通っています。そのなかで互いに支え合い、協力し合って学校生活を送っていました。学校全体が信頼し合っている、そんな仲の良い雰囲気の学校でした。まず私たちはいつも朝に門に立っているように、あいさつ運動をしました。そこではたくさんの人が私たちに向かい、大きな声であいさつを返してくれました。しゃべることができなくても、私たちに目を合わせてくれました。それがとても気持ちよく、私たちも見習わなければならないなと思いました。文化祭では、各学年ごとに舞台演技をしていました。そこでのスローガンは「GO FOR IT!」意味は、「がんばって!」という意味なんだそうです。そのスローガン通り、演技中にも「がんばって!」などの応援の声が聞こえてきました。なかでも印象に残ったのは、それぞれの練習の成果を出し切ったときの会場からの暖かい拍手でした。成功しても、失敗してもみんなが暖かい拍手で応援していました。そんな学校の雰囲気がとてもいいなと思いました。立花中学校の文化発表会も同じように、大きな拍手がありました。そのように私たちのいいところは、続けていきましょう。

尼崎養護学校の文化祭をみて、見習わなければならないなと思うことが多くありました。それはあいさつなど基本をしっかりすることが一番だと改めて感じました。まず私たちが簡単に始められるのはあいさつです。立花中学校も気持ちの良いあいさつで一日が始められるように、私たちも努力していきますのでみなさんもよりよい学校環境が作れるように、あいさつを広めていきましょう。そして尼崎養護学校の皆さんを見習い、自分の生活を見直し改善してみてください。きっと今より充実した一日を送ることができると思います。

今学期が終わるまであと数か月しかありません。気持ちを引き締めて残りの学校生活を送りましょう。

編集後記

もうすぐ、生徒会執行部役員選挙がはじまります。立候補者が安心して立候補できる環境をみなさんで作ってあげてください。二年生のみなさんはトライやるお疲れ様でした。この経験を学校生活でいかせるように頑張ってください。

(池田・竹尾・池本・梶本)